

ETFは世界中で約5,500本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.9兆ドル（約340兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

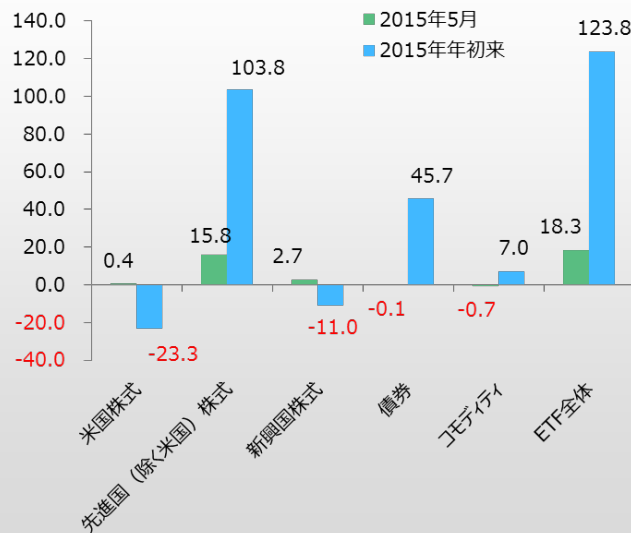
2015年5月のETF資金流入 ～米国株からの流出が加速～

2015年5月の世界のETFの資金流入は、183億ドル（約2.3兆円）の流入となりました。

資金流入を牽引したのは引き続き米国外の先進国株式です。日本株および先進国（除く北米）にはそれぞれ58億ドル及び42億ドルの資金が流入しました。これまで堅調に資金を集めていた欧州株についてはペースが弱まり、16億ドルの流入に留まっています。一方で2ヵ月連続で新興国株式に資金が流入しています。投資家の物色動向の変化が背景にあるのかもしれませんが。

5月の債券市場は、米国債を中心に金利が乱高下した相場展開でした。先月に引き続きETFの投資家は金利上昇を意識しているようです。金利上昇による価格変動を受けやすい残存年数の長い米国債ETFや、比較的金利感応度の高いREITのETFからは資金が流出しています。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】



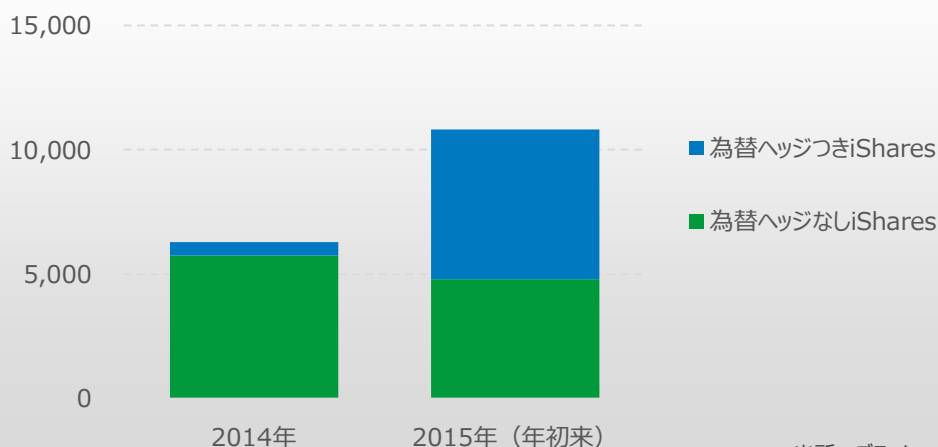
出所：ETP Landscape May 2015, BlackRock

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

■ 為替ヘッジつき/なしが選べるiSharesの資金流入額

(単位：100万ドル)



出所：ブラックロック、ブルームバーグ

これまでのレポートでもお伝えしたとおり、米国人投資家によるETFを経由した海外株式市場（先進国除く北米、欧州、日本）への投資は2015年に入り勢いを増しています。5月末時点では昨年1年間の流入額を大幅に上回るペースで資金を集めていますが、このうち為替ヘッジつきETFが半分以上を占めています。昨年後半よりドル高傾向が続いていますが、為替ヘッジ付きETF*の登場が海外投資を身近にしたと言えます。

さて、この為替ヘッジ付きETFですが、今月より日本の投資家のみなさまも購入できるように金融庁へ届出を行ないました。取扱いのある証券会社を通じて購入が可能です。米ドルをファンドの基準通貨としつつ、ドイツ、欧州広域、あるいは日本の株式市場に投資を行ないながら、米ドルと投資対象国の通貨の間で為替ヘッジをすることで米ドル高による毀損を低減することを目指した運用を行ないます。さらなる海外分散投資の選択肢として、これまでの為替ヘッジなしETFと併せてご検討ください。

*為替ヘッジは、ファンドが保有する資産の通貨と米ドル間の為替ヘッジであり、日本の投資家がファンドを売買される際の円ドル取引に対する為替ヘッジではありません。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110 (部代表) www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。